



# しらかず

東根二中たより



平成30年  
4月11日(水)  
第1号

## “40名の 新★中学生” ご入学おめでとうございます 入学式4月7日(土)

東根市教育委員会教育長 元木正史 様をはじめ、たくさんのご来賓の皆さんより、祝福をいただきました。式での様子から“新★中学生”の皆さんの「中学生としての自覚」が感じられました。



体育館に入場した新★中学生たち。緊張の中にも、「中学生になって一歩大人に近づいた」そんな雰囲気が感じられた入学式でした。



「2・3年生と一緒に二中の新しい学校文化を創造していこう。」と挨拶。

「生徒歓迎の言葉」



「自分の夢を叶えるために目標を高く掲げて力強い一歩を踏み出します。」と挨拶。

「新入生誓いの言葉」



「教科書給与」




二中の自慢・合唱を、2・3年生が披露。曲は「大地讃頌」です。

裏もご覧ください。

平成30年度 東根二中の教職員です。今年1年間、よろしくお願いいたします。

校長：金村裕之 教頭：矢萩和幸（美，文化） 教務主任：和泉裕之（社，野球）  
 1年主任：日塔常喜（理，バスケ） 1-1担任：清野因美（英，ソフト） 1年副担任：武田千春（家）  
 2年主任・担任：森 勇人（国，剣道） ひのき担任：半澤朋子（音，バレー） 2年副担任：工藤美穂（理）  
 3年主任：作山美良子（数，卓球） 3-1担任：半澤宏樹（保体，陸上） 3年副担任：羽柴純子（国）  
 養護教諭：高島篤子 事務主査：伊藤真紀 主任技能士：設樂裕介  
 図書館司書：打矢智美 事務補助：窪田留美 教育相談員：榎小枝子

“新任教職員のご挨拶” 5名の教職員が二中に赴任しました。よろしくお願いいたします。

	<p>希望を持って二中に登校し、仲間や先生方、地域の方々に感謝をして下校できる学校生活を送っていきましょう。その先に、将来のなりたい自分が待っています。</p> <p>矢萩和幸</p>		<p>32年前、新採の学校がここ東根二中でした。その時の校舎は旧校舎でしたが、今はとても立派な校舎ですね。心機一転し、頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>日塔常喜</p>
	<p>これから始まる二中での生活にワクワクしています。分からないことが多いので、いろいろ教えてください。</p> <p>半澤朋子</p>		<p>春になると息子達と一緒に“ザリガニ釣り”に来ていました。今も釣れるかな？子ども達と一緒に元気一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>工藤美穂</p>
	<p>初めまして！羽柴と申します。学習塾講師が長く、学校で授業を受け持つのは初めてです。どんな生徒たちに出会えるのかワクワクしています。</p> <p>羽柴純子</p>		<p>二中のシンボル「清流・白水川」から誕生した「二中のマスコットキャラクター」です。今年もよろしくお願いいたします。</p> <p>しろみずまる（平成28年生まれ）</p>

新たな出会いから始まる二中物語

校長 金村裕之

4月6日（金）入学式前日、新任式と始業式を行いました。

2・3年生のみの登校ですが、新年度スタートの日です。そして、様々な意味を持った1日です。

まず、5名の新任教職員と2・3年生の出会い。

そして、2・3年生にとっては、担任等の発表の日です。始業式後の担任等の発表。「今年の担任は誰なのだろう？」という二中学生の期待感が伝わりました。発表時の二中学生からの拍手、二中学生はなんと温かな心の持ち主ばかりなのだろうと感じました。

また、翌日に入学式を控え、2・3年生と新体制の教職員とでの入学式準備。それは、二中学生同士、二中学生と教職員が同じ目的のために協力し合う最初の時間と言えます。作業は素早く丁寧でした。

4月7日（土）入学式当日。

今年は40名の新★二中学生を迎えました。

呼名に元気よい返事で応え起立する一人一人の姿を見詰めながら、これから40名には数多くの出会いがあるだろう、どんな出会いも自分の成長に繋いでくれるだろうと、思いを巡らせたのでした。

「自分と未来は、自分次第で変えられる」という言葉があります。運命の糸に導かれて出会った全校116名の二中学生たちと教職員の私たち。

今、新たな出会いから始まったそれぞれの二中物語。二中学生が本校を巣立つ時、「偶然と思えた出会いは、実は必然だったのだ」と笑顔で思い返せる、そんな素敵な物語を創り上げてくれると期待しています。

必然：必ずそうなること。それ以外になりようのないこと。また、そのさま。  
 必然 ⇔ 対義語：偶然・蓋然（がいぜん）